

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんあそび（線あそび）

ジグザグを理解する

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年9月25日
時 間	30 分
参加人数	15 人

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クレヨン

探究活動を実践する

●活動内容

雨の日の体験を話す

ジグザグを描く

●子どもたちの様子

雨の日はどうするかたずねると、「傘をさして出かける!」「レインコートを着る!」「長靴を履く!」と、自分の体験を思い出しながら答える姿があった。「傘から長靴までまっすぐ線がかけるかな?」と声をかけると、「まっすぐ書けたよ!」「ちょっとずれちゃった!」といった声があがった。「紙を押さえると紙が動かないよ」と伝え、それを意識して「しっかり押さえて書けるかな?」と取り組む様子もあった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

「私は青い傘」「恐竜のレインコート」と自分の持ち物に重ねつつプリントの内容にも興味を持っていた。気持ちが先行して講師の話の途中で書き始める児がいたが、保育者の声掛けで手を止めて最後まで話を聞いていた。スタートからゴールまでの距離が長いと途中で手の位置を変えたり紙をずらして書いていた。

講師より

自分の経験を伝える中で、雨の日の生活に関する言葉の広がりを感じられた。線を描く際に、紙が動かないように工夫しようとする姿から、主体的に取り組む気持ちが育ちつつあることが見えてきた。今後も、自分の体験を友達と共有する場面を作り、生活と結びつけながら線を描くなど表現を豊かにしていけるようにしたい。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんがき（線描き）

波線をさらに理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クーピー

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年9月25日
時 間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

部屋の中でや知っているような同じような形を探す

波線を見て、特徴を見つけたり表現したりする

文字の道を見て特徴をみつけたり表現したりする

●子どもたちの様子

なみなみしているものは何か問いかけると、「へび」「タコ」「ホース」、部屋の中では「コンセント」「水筒の紐」「髪の毛！」など発見する姿があった。その特徴をたずねると「くにゃくにゃしている！」との声があがり、くにゃくにゃを意識した線を描こうとする様子が見られた。文字の道では「なはたに横棒が似ている。」「棒が滑り台みたいに斜めになっている！」など文字に共通する特徴を捉えて答えようとする姿が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

「ま」は下の線の方が短いということを学び、意識して書く様子が見られた。身近な物を想像しながら楽しんで描く様子があって良かったが、ワークと顔の距離が近い児や紙を斜めにして書く児等もいたので基本の姿勢から声掛けが一つようだと感じた。

講師より

子どもたちは身近なものから「なみなみ」を連想したり、自分で線で表現しようとしていた。文字同士を比べて特徴をとらえようとする姿が見られ、形や文字の細かな違いに目を向ける力が育ちつつあるようだった。今後も生活の中での形の特徴に目を向けて言葉や線で表現していく経験につなげていきたい。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 ひらがな・線描き

ジグザグを理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、鉛筆

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年9月25日
時間	45 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

文字の特徴と文字がつく言葉を話す

いろいろな線の動きを工夫して描く

●子どもたちの様子

「ま」のつく言葉をといかけると、「マカロニ」「マカロン」「秋祭り」などのことばがあがり、「ま」の特徴をたずねると、「横棒の長さが違う。」といった細かな違いに気づく声があがった。「な」のつく言葉をといかけると「梨」「南のハメハメハ」「納豆」などがあがり、なの特徴をたずねると、「書き順がいっぱい!」と描く順番にも目を向けた発言が聞かれた。ジグザグ描きでは、しっかり角を意識しながらじっくり取り組む姿が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

それぞれの文字のつく言葉を聞かれると積極的に手を挙げて発言する児が多くいた。実際に平仮名を書いていくと「簡単だよ～」と言いながらも棒線の数や線が突き出るか出ないか等、細かいところが分からなくなっている様子も見られた。

講師より

子どもたちは文字や言葉の特徴に注目し、形や書き順の違いを自分の言葉で説明する姿が見られ、線や文字を観察し表現する力が育ちつつあるようだった。今後は、形や線の違いを意識しながら書くことに挑戦し、集中してとりくむことや表現の豊かさへとつなげていきたい。